

12月は、阿弥陀様前の松の立花をクリスマスツリーのようにイルミネーションなどで飾り付けをします。それは、ちょっとやりすぎい〜？
今月はそんなお話です…



お寺で Xmas をしてみた

『年を送り、年を迎えるこの時に、多くの人の胸に浮かぶであろう、あの気持ち。去り行く年に対しての心残りや、来る年に対してのささやかな期待。年々を重ねていく凋落の想いと、いま、巡り来る新しい年にこもる回生の希い。「行きかう年もまた旅人」の感慨を、今日の旅の上で私はしみじみ感じた。…』(東山魁夷画伯・画文集より)

↓地蔵堂もご覧の通り！



うちのお寺は梵鐘がなく、除夜の鐘の行事がありません。私が住職になった時、それに代わる年末の行事が出来たらと思い、東山魁夷画伯が書いておられるような年末を静かに過ごしてもらえよう行事を考えました。

こうして20年程かけて進化した行事が **お寺 de クリスマス** です。

毎年クリスマスの前後日曜日に行っています。

うちのお寺のホームページを見た他宗派の住職



さんから、「何をふざけたことをやっておるのだ！」と叱られたこともあります。

実は、我が町は織田信長の影響で、江戸時代中期まで潜伏(隠れ)キリシタンが多く存在した町なのです。現在も牢屋跡や処刑場跡が存在します。うちのお寺にも、その時没収されたマリア観音さまを御三方お祀りしています。マリア観音さまの法要なのです。

当日は、堂内で『♪アヴェマリア』や『♪アメイジンググレイス』を弾き語りしてもらいながら、マリア観音さまの長く美しい髪をお一人お一人に優しく撫でていただき、日常起こった怒りの心を静め、許す心に変化させ新しい年をおだやかに迎えます。毎年進化し続けそんな行事になりました。

これを、ホームページを管理して下さっているNさんが、先ほど苦言を言っておられた住職さんのお寺に出向き、説明して納得していただきました。

俊徳丸

